

申請にかかる注意事項 貸与奨学金 大学院生(令和 8 年度予約採用)

1. 配付資料の確認

- ① 奨学金案内ダイジェスト・スカラネット入力下書き用紙【大学院予約】
- ② 奨学金確認書兼地方税同意書
- ③ 令和7年度日本学生支援機構貸与奨学金(予約採用)申請について(研究科1年)
※申請の流れが記載されたもの
- ④ 申請にかかる注意事項 貸与奨学金 大学院生(令和 8 年度予約採用)

2. 奨学金制度の概要

1)今回申し込みが可能な奨学金は

「第一種奨学金(無利子)」、「第二種奨学金(有利子)」、「入学時特別増額貸与奨学金(有利子)」、「授業料後払い制度」です。(冊子 p5)

「授業料後払い制度」は授業料相当額と生活費奨学金を無利子で貸与する制度です。修士課程相当でのみ利用でき、卒業後貸与奨学金として所得に応じた金額の返還が必要です。

第一種奨学金との併用はできません。ただし第二種奨学金との併用は可能です。
生活費奨学金は月2万円、4万円から選択可能です。

2)家計基準:本人及び配偶者の収入です。(冊子 p8)

3)利率:利率固定方式又は利率見直し方式です。(冊子 p11)

最新の利率は、日本学生支援機構のホームページで確認できます。

4)返還方式:定額返還と所得連動返還です。(冊子p13～15)

※授業料後払い制度の返還方式は「所得連動方式」のみ

所得連動返還は、第一種奨学金で選択可能で、保証制度は機関保証制度(保証料が必要)のみとなります(人的保証制度は選択できません)。

5)保証制度:人的保証、機関保証どちらかを選択(冊子p18～22)

※授業料後払い制度の保証制度は「機関保証」のみ

授業料支援金を返還する際は、支援対象の授業料にかかる保証料相当額が加算されますので、注意してください。(保証料の目安 冊子 p41 参照)

機関保証制度:外部の保証機関に代わりに保証人になってもらう。

連帯保証人・保証人の選任の必要なし。

ただし毎月の奨学金から保証料が月々差し引かれる。

保証料は(冊子 p41)参照

人的保証制度:条件に合う連帯保証人・保証人を選任

3. 提出書類の記入等について

1) 奨学金確認書兼地方税同意書

①住所は現住所(現在住んでいる住所)を記入

②研究科は進学予定の研究科、学籍番号は現在の学籍番号を書く。

2) スカラネット入力下書き用紙:すべて記入し、全ページコピー

◎スカラネット下書き用紙の記入方法について

STEP3 ②ー奨学金申込情報

希望する奨学金を1つ選択。間違いのないように注意すること。

STEP3 ③ーあなたの入学(予定)先情報

(4)専攻コードは記入不要

(6)昼夜課程は全員昼を選択

STEP3 ④ーあなたの在学情報

(4)学籍番号はハイフン「-」なしで入力すること

STEP3 ⑤ー奨学金貸与額情報

冊子 p6 を確認し決める。間違いのないように注意すること。

〈授業料後払い制度を希望する場合〉

1. (1)生活費奨学金の金額を選択

(2)返還方式は「所得連動返還方式」のみ

(3)別の大学院で受給したことがある人や一度辞退したことがある人の該当

2 第二種奨学金を希望する場合は入力

3 入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は入力

STEP5 ⑧ー保証制度

どちらかを選択。人的保証を選択する場合は連帯保証人・保証人が用意出来るかを
確認して選択すること。

STEP7 ⑩ーあなたの研究情報・⑪ーあなたの家庭事情情報

字数の3分の2程度は記入すること。

半角文字はエラーとなるので注意すること。テキスト印刷貼付け可。

STEP8 ⑫ー奨学金振込口座情報

必ず自分の口座を記入すること。

間違いが多いため、必ず通帳を見ながら記入すること。

※スカラネット入力後は、引き続きマイナンバー提出等の手続きを行ってください。

3) 通帳のコピー

奨学金振込口座の金融機関名・支店名・口座番号・口座名義人が確認できる通帳又は
キャッシュカードのコピー

4. 書類の提出先について

吉田地区の学生:学生支援課経済支援係(共通教育9番窓口)

小串地区の学生:医学部学務課教育・学生支援係

常盤地区の学生:工学部学務課学生係